



遊びは幼児期の 発達の要です

子どもは、日常の中で家族をはじめとした 周りの人との関わりや、遊びを通して発達し ていきます。

特に、幼児期は自分の体をうまくコントロー ルするために、多くの刺激が取り込める楽し い遊びを多く経験することが大切です。



遊びの経験がないと、バランスがうまく保 てなかったり、力の加減や調整ができなかっ たりして、姿勢が崩れやすくなり、日々の活 動も不安に感じるようになります。

次の遊びを取り入れ、一緒に楽しみながら 子どもの可能性を伸ばしていきましょう。

親子で遊ぼう





細かい動きで 遊ぼう

大人と指先を使う経験を育みましょう。折る遊び は、初めは折りやすい布や大きな広告紙で楽しんだ り、作ったら遊べるという楽しみを持たせたりするこ とがコツです。

例 折り紙、工作、料理の手伝い



大きく動いて 遊ぼう

走る、跳ぶ、ボールを投げるなど、体を大きく使っ て遊びましょう。

例 鬼ごっこ、なわとび、ケンケンずもう、遊具遊び



言葉で 遊ぼう



言葉は、「相手に伝える」だけでなく、どの言葉を 使うかなど「自分で考える」力を育てる役割を担って います。言葉を使う楽しさを味わわせたり、会話の やりとりを増やしたりしましょう。

例 しりとり、雷話ごっこ、絵本、なぞなぞ

■保健センター ☎ 985-4118 / 学校教育課 ☎ 985-4134 / 各幼稚園・保育所・小学校



Lopics 別支援教育の情報をお届け

小学校へつなぐハッピーサポート

町は、早期からの情報提供や相談ができる支援体制を整え、 町内に住む子どもたちが笑顔で楽しく小学校へ進学できるよう、 柔軟できめ細やかな対応に努めています。

相談や発達支援を連携 して行っています。

> 必ず健診を受けま しょう。

23 幼稚園・保育所



巡回相談を年2回、各幼稚園・保育所 で行っています。子どもたちが実際に各 幼稚園・保育所で過ごしている様子を見 て、小学校・保健センター・療育施設の 各担当者と専門家が、情報交換や支援の 方法を検討しています。

入学前に「就学支援 シート」を保護者の人 と一緒に作っています。



就学支援シート

103 保健センター



妊娠から出産、乳幼児期を中心に、家 庭訪問、相談や健診を全ての家庭を対象 に行っています。これらを通して、親子の 成長の過程に合わせ、健やかに安心して 子育てできるようにサポートしています。

31 小学校



就学時健康診断などで、スムーズに就 学できるようにしています。いつでも相 談は受け付けていますので、気軽に連絡 してください。

1 2015-3 ❖ 広報 まさき

器用さ 経験